

全国ことばを育む会 各県親の会アンケートの考察

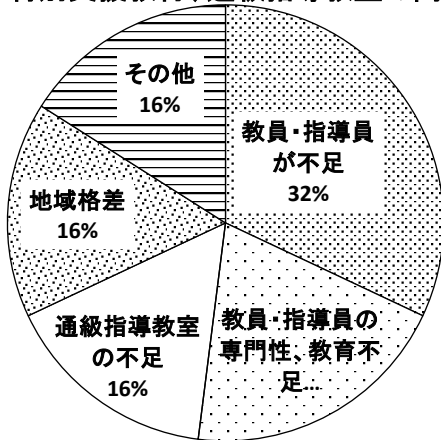
・回答した親の会

北海道、青森、秋田、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、東京、長野、岐阜、静岡、三重、富山、福井、滋賀、京都(与謝地方)、兵庫(神戸市)、島根、鳥取、岡山、広島、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、熊本、宮崎、鹿児島 (33都道府県)

1、特別支援教育、通級指導教室の問題点

項目	回答数 (重複あり)	主な内容
1 教員・指導員が不足	8	絶対数不足、一人当たりの教員・指導人数多、異動が多い 他
2 教員・指導員の専門性、教育不足	5	研修不足、臨時・補欠要員が指導、等
3 通級指導教室の不足	4	近くにない、教室のない市町村がある
4 地域格差	4	地域により格差大、言語と情緒の区別がない、市により主訴が違う 等
5 その他	4	指導の方向が違う(学習遅れ対応)、幼⇒小で情報不足 必要な支援ができていない、1教室で様々な障害に対応
	25	

特別支援教育、通級指導教室の問題点



考察1

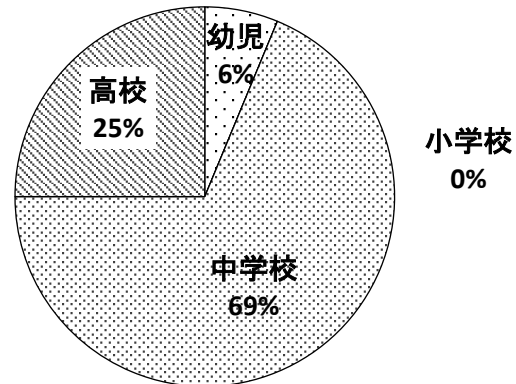
定数化が実現したとはいえ、まだまだ教員・指導員不足の声が多い。また教員・指導員の皆様の研修機会や専門性も課題です。
また教室不足(近くにない、中学にない)や地域格差(同じ県下でも市町や地域での格差、市町で言語、発達障害 等 内容差がある)もまだまだあり、全国親の会として強く訴えていきたいと思います。

2 幼、小、中、高 その他の問題点

1) 支援に不安、不十分さを感じるステージ

項目	回答(重複あり)
1 幼児	1
2 小学校	0
3 中学校	11
4 高校	4
	16

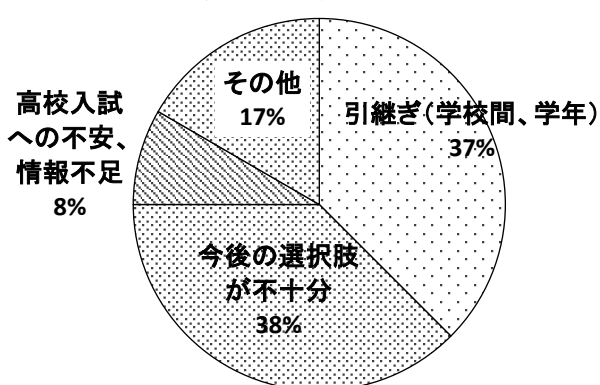
支援に不安、不十分さを感じるステージ



2) 支援に不安、問題がある点

項目	回答(重複あり)	主な内容
1 引継ぎ(学校間、学年)	9	引継ぎ不十分。幼から小は○ 中学が×。学年間での引継ぎ×。
2 今後の選択肢が不十分	9	中学に、通級・ことば・言語教室がない。中学の支援学級の受け皿少。
3 高校入試への不安、情報不足	2	入試の情報不足。ヒアリングテストが不安。
4 その他	4	親の不安と学校側の考えが不一致。学力。医療機関半年待ち。等
	24	

支援に不安、問題がある点



考察2

各県で教室設置で最も問題としているのは「中学に通級、言語、ことばの教室がない」の声です。まだまだ中学への設置を強く要望していく必要があります。
また内容、しくみでは各ステージ間での引継ぎが不十分の声が多いです。(反対に引継ぎを重視している県(滋賀、徳島)もある。)いわゆる「継続した支援」の仕組みづくりも大きな課題と思います。